

市民会館（仮称）市民文化交流センター基本設計概要書



外観イメージ

1 “紀州材”を取り入れた現代的デザイン



外観・内観どちらも紀州材の木を感じられる計画とします。外観では、メンテナンス性、耐久性に配慮して、杉板型枠のコンクリート打放仕など、木の表情のみを感じられる計画とし、内観では、不燃木シート等を用いて、木質化された内装計画とします。

2 城下町の佇まいを踏襲した設え



城下町としての歴史や、古くから和歌山に見られる伝統的な景観を踏襲した計画とします。けやき大通りに面した南側は、和歌山の歴史的建造物に見られた木格子をモチーフにした縦ルーバーを計画します。縦ルーバーは南側のガラス面に対する日射抑制にも寄与します。

3 “和歌山城との関係性”に配慮



和歌山城の目の前という敷地特性を踏まえ、和歌山城への眺望を確保するため、南側はガラス面で構成します。また、和歌山城下の豊かな緑と連続した緑豊かな屋上庭園や城の石垣と呼应した外装（1階のみ）を計画します。

平成 29 年 8 月
和歌山市

外観イメージ